# 教育出版 高校音楽Ⅱ改訂版 Music View (音Ⅱ 308)

## 年間指導計画 · 評価規準例

	単位数	2 単位	担当者				
芸術科「音楽Ⅱ」	学科·	学年・学級	科	第	学年	組	
シラバス	使用教科	書・副教材等	高校音》	終Ⅱ引	女訂版	Music View	

#### 1 教科の目標(講座のねらい)

- ・「音楽 I 」の学習を基礎にして、生徒一人一人の能力・適性、興味・関心等に応じた学習活動の充実を図り、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
- ・音楽の諸活動を通して、生涯にわたって音楽を愛好していこうとする心情を育てる。
- ・日本及び世界の様々な音楽にふれ、楽曲そのものだけでなく、文化的・歴史的背景などを踏まえた 広い視野をもって音楽に目を向け、音楽文化への理解を一層深める。

### 2 育てたい生徒像

「音楽 $\Pi$ 」では、「音楽 $\Pi$ 」の学習経験を基盤として、生徒一人一人が音楽を永続的に愛好する心情をはぐくむとともに、生涯にわたって豊かな音楽活動をするための基になる力を確実に身に付けさせたい。そのため、生徒自らが感性を働かせて思考・判断しながら表現する場の設定や、根拠をもって自分なりに批評するなど、主体的に音楽とかかわりながら鑑賞する場の設定を工夫する。

具体的には、第一に歌唱や器楽の学習活動において独唱(奏)、小アンサンブル、合唱(奏)などの様々な規模・形態の表現活動を取り入れる。教材に応じて表現方法や規模・形態を選択できる場を設け、自分の目指す音楽表現をするための課題を主体的に解決できるよう支援したい。第二には、表現領域の学習において一人一人が音楽について思考・判断したことを様々な方法で表現する場を設ける。音楽を形づくっている要素やそれらの働きの知覚・感受に基づく音楽表現はもちろんのこと、音による表現だけでなく、調査研究やレポート発表、討論などの課題も取り入れ、音楽との多様なかかわり方に関心をもたせたい。また、鑑賞領域の学習では、曲や演奏について自分なりに価値判断し、言葉や文章などで表す活動を行う。第三には、世界の様々な音楽や日本の伝統音楽などにこれまで以上に幅広く親しませ、諸文化とのかかわりなど広い視野で音楽を捉えられるような題材を設定する。音や音楽を表現したり鑑賞したりする音楽の学習や楽しみ方に加えて、楽曲の背景となる文化や社会とのかかわりといった多様な視点からの学習や楽しみ方を追究させたい。

これらの取り組みによって、生徒一人一人が生涯にわたって音楽を愛好する心情や音楽文化を尊重する態度を育み、音楽とのかかわりを自らの力で開拓していくことができるようになると考える。

#### 3 授業の内容と学習方法

- (1) 日本の伝統音楽や世界の様々な音楽について、文化的・歴史的背景の学習とともに、発声の特徴を生かして歌うなどの具体的な音楽表現を通して理解を深められるようにする。
- (2) 音楽を形づくっている要素の働きが楽曲の特徴にどのような役割を果たしているかを一層理解できるよう、表現教材の学習と創作や鑑賞の学習の有機的な関連に配慮して題材を構成する。
- (3) 音楽文化についての理解を深めるために、音楽が絵画などの諸芸術や他の文化と互いにどのように影響し合って発展してきたかを考えられるような題材を構成する。
- (4) 表現教材の学習にあたっては内容に応じて選択制を取り入れ、「音楽 I」で身に付けた創造的な表現の能力を個性豊かな表現の能力に伸長できるよう独唱(奏)、小アンサンブル、合唱(奏)などの様々な規模・形態の表現活動を取り入れる。
- (5) 音楽との多様なかかわり方に関心をもたせ、思考・判断し、自らの考えを伝える力を伸ばすため、 長期休業中に課題レポートを課す。

Music ViewⅡ改訂版 年間指導計画・評価規準例 A					_					Т					学習指導要領										
			学習	教材		音楽を	形づく	ってい	る要素			評価				ı	表现	見	1	鑑賞		F	内容の取り扱い		
月	題材名•単元名	学習のねらい	の領 域	<ul><li>○歌唱教材 ◇諸要素, 創作教材 □器楽教材</li><li>◆知識理解教材 ◎鑑賞教材 (自作教材を含む)</li></ul>	音色 '	ノズ ム 速	度 旋律	テク ス チュ	弱 形式	構成			·現 【	鑑賞		歌唱		器	1	創作	8 8	(1)	(2)	: :	音楽 I 」の(2)~(8))
-	ナリエンテーション _さあ. 音楽 Ⅱ の扉を 開こう—	音楽Iの学習目標や一年間の学習計画を確認する。また、なじみのあるJ-POPの歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら二部合唱で合わせ、音楽IIへの学習意欲を	歌唱			С	0	0 0		,	音楽への関心・意欲・態度 曲想と歌詞の内容や作詞者・作曲者の メッセージとのかかわりに関心をもち、 イメージをもって歌う学習に主体的に取 り組もうとしている。	音楽表現の創意工夫 楽曲の速度,旋律,テクスチュア,強弱 を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想 を歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッ セージとかかわらせて理解し、音楽表現を工夫して、どのように歌うか表現意 図をもっている。	音楽表現の技能 曲想を歌詞の内容や作詞者・作曲者の メッセージとかかわらせて理解し、イ メージをもって音楽表現をするために必 要な発声、姿勢や身体の使い方、読譜 の仕方などを身に付け、創造的に表し ている。	鑑賞の能力	<b>Р</b> /	イ <u>ウ</u>		7 1 1	ウェ	7 1 0 III	ア イ ウ		(2)	(3) (4)	(5) (6) (7)
7	豊かな歌声をめざし て ―ア・カペラにチャレ	養う。 発声のエクササイズに取り組み、豊かな響きのある歌声を身に付ける。また、様々な編成によるア・カペラの合唱で声を響かせ、協力し合いながらアンサンブル活動を楽しむ。	歌唱	【共通教材】 ODing dong! merrily on high Oどじょっこ ふなっこ OMy Old Kentucky Home Oほたるこい ◆豊かな歌声のためのエクササイズ ※「豊かな歌声のためのエクササイズ」は歌唱教材の ウォーム・アップとして1年間を通して活用する。 【選択教材】 OGrandfather's Clock ○スキャットによる「茶色の小びん」	0			0 (		3		音色、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、ア・カペラによる歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫し、				0	Ο							Ο	
	多様な声の世界 ―世界の声と日本の   *	世界の声の音楽と日本の声の 音楽を比較しながら歌ったり鑑 賞したりすることによって、声に よる音楽表現の多様性について 理解を深める。	歌唱(鑑賞)	○こきりこ節 ○佐渡おけさ ○一本の大きな木 ◆「世界の声と楽器」 ◎ジョージアの男声合唱 ◎ポリネシアのヒメネ ◎布農族の合唱 ◎ドゥルパド ◆日本音楽の流れ ◎声明『散華』 ◎平曲『那須与一』	0	0	0			1 th	日本とブルガリア民謡の発声の特徴と表現上の効果とのかかわりや音楽表現の多様性に関心をもち、それらを理解して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 世界と日本の声の音楽における発声の特徴と表現上の効果とのかかわりや音楽表現の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	日本とブルガリア民謡の音色、リズム、 旋律、構成を知覚し、それらの働きが生 み出す特質や雰囲気などを感受しなが ら、発声の特徴と表現上の効果とのか かわりを理解して音楽表現を工夫し、ど のように歌うか表現意図をもっている。	に、自来表現でするにめに必要は完 声、呼吸法などを身に付け、創造的に 表している。	世界と日本の声の音楽の音色・リズム・ 旋律を知覚し、それらの働きが生み出 す特質や雰囲気などを感受しながら、 声による音楽表現の多様性について理 解を深め、楽曲や演奏を解釈したり価 値を考えたりして、よさや美しさを創造	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	O	0					0	0	0	
-	言葉と音楽1 ―日本の歌とアジア の歌―	曲想を日本語、中国語、韓国語 それぞれの言葉の特徴や文化 的な背景とかかわらせて理解 し、イメージをもって歌う。	歌唱	<ul><li>[日本語]</li><li>○風の子供</li><li>○落葉松</li><li>[中国語]</li><li>○草原情歌</li><li>[韓国語]</li><li>○故郷の春</li></ul>		0 0	0		)		曲想と日本語、中国語、韓国語の言葉 の特徴や文化的な背景とのかかわりに 関心をもち、イメージをもって歌う学習 に主体的に取り組もうとしている。		曲想を日本語、中国語、韓国語の言葉の特徴や文化的な背景とかかわらせて 理解し、イメージをもって音楽表現をす	的に味わって聴いている。	0		0								
-	未間に限されたLミノ 動機から 立窓 たつノ		創作	◆What Is Composition?—楽譜に隠された秘密を探して— ◇動機から音楽をつくろう ◆西洋音楽 楽曲のいろいろ ⑥クレメンティ『ソナチネ』op.36-1第1楽章 ◆作曲家年表 ◆ウィーン古典派時代の芸術文化 ◆楽典 いろいろな形式			0		0		関心をもち、自作の動機をもとにして構成を工夫しながらイメージをもって創造	動機の展開と諸要素のかかわりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、反復、変化、対照などの構成を考え、表現したい音楽をイメージして音楽表現を工夫し、どのように音楽をつくるか表現意図をもっている。	照などの構成を工夫した音楽表現をするために必要な音の組み合わせ方や 記譜の仕方などを身に付け、創造的に							0			0	Ο	
	学期の音楽学習の	1学期の音楽学習のまとめとして歌唱及び創作作品の演奏発表を行う。また、1学期の学習を振り返って自己の課題を確認し、2学期以降の取り組みを考える。	歌唱	○1学期に学習した歌唱教材の演奏発表(実技試験を兼ねる) ◇各自の創作作品の演奏発表 ◆創作作品の紹介文 ◆学習のまとめのワークシート ◆相互評価アドバイスカード ◆夏休み中の課題レポート:教科書90-95ページを参考に「ロックの歴史を刻んだミュージシャンたち」について音楽の特徴を調べ、レポートにまとめる。	(O) (	0)(0	)) (O)	(O) ((	)) (O)	(O)		各自が選択した歌唱及び創作作品の 音楽を形づくっている要素を知覚し、そ れらの働きを理解しながら音楽表現を 工夫し、どのように歌い、演奏するか表 現意図をもっている。	意工夫を生かした音楽表現をするため に必要な発声, 呼吸法, 読譜や記譜の		0	0	О			0					O
	コックの魅力―音楽	夏休み中の課題レポートをもとに、興味をもったミュージシャンやバンドについて、その音楽の特徴や魅力を言葉で伝える工夫をする。また、ロックの歴史や発	鑑賞		0	0 0	0	0 0	0		果とのかかわりに関心をもち、表現をエ	一窓又しなから、このこのはロフノ・ミュー	さまざまなロック・ミュージシャンやバンドの歌い方や演奏の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを身に付け、創造的に表している。	さまざまなロック・ミュージシャンやバン			0				0				0
		展をたどりながら日本や世界の ポピュラー音楽の文化について 理解を深める。		※歌唱教材はどちらか一曲を選択する。 □Start Up! -Playing the Guitar- □ギター&キーボード・コード表						1 7 1	さまざまなロック・ミュージシャンやバンドの文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			ドの声や楽器の音色・リズム・旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、文化的・歴史的背景や作曲者及び演奏者による表現の特徴について理解を深め、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。											
-	5 楽と音楽2 ―英語の歌のアンサ ノブル	英語の発音や言葉の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解しながら、表現をエ夫して声のアンサンブルを楽しむ。	歌唱	○Yesterday once more ○Nowhere Man ※グループごとにどちらかー曲を選択し、アンサンブルを 楽しむ。 ◆楽典 コードネーム			0	0 0		in U	曲想と英語の言葉の特徴や楽曲の背景とのかかわり、小アンサンブルによる歌唱の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	楽曲の旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きによる特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を英語の言葉の特徴や楽曲の背景とかかわらせて理解したり、小アンサンブルの歌唱の特徴を理解したりして音楽表現を工夫し、どのように歌うか表現意図をもっている。	曲想を英語の言葉の特徴や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって音楽表現をするために必要な発声,言葉の発音,呼吸法などを身に付け、創造的に表している。		О	0	Ο								
7	で変奏曲をつくろう ―音楽を形づくってい	音楽を形づくっている要素のはたらきを再確認するとともに、『どじょっこ ふなっこ』の旋律をもとにして「音楽を形づくっている要素」を変化させながら変奏曲をつくる。	創作	◇『どじょっこ ふなっこ』で変奏曲をつくろう ◆楽典 ◆西洋音楽 楽曲のいろいろ ◆作曲家年表 ◆What Is Composition?—楽譜に隠された秘密を探して—	0	0 0	0	0 0	0	1 ~ 1	化に関心をもち、イメージをもって変奏	音楽を形づくっている要素とそれらの働き、要素の働きを変化させることによって生み出される音楽の表情や雰囲気などを理解し、表現したい音楽をイメージして音楽表現を工夫し、どのように音楽をつくるか表現意図をもっている。	れさせく変奏を9 るために必要な旋律 の変化のさせ方, ふさわしい伴奏のつく り方, 記譜の仕方などを身に付け, 創 造的に表している。							0			0	0	O
ل -	3 米にこのりんに心 ,) 	楽曲の背景にあるエピソードや 作曲者の思いが、作品の音楽構 造や曲想にどのように反映され ているのかについて理解を深め て鑑賞する。	鑑賞	◆いのちへのまなざし ⑤朱鷺によせる哀歌 op.12 ◆音楽に秘めた心 ⑥交響曲第5番 二短調 op.47	0	0 0	0	0 0	0		楽曲の背景にあるエピソードや、作曲 者の思いと作品の音楽構造や曲想との かかわり、オーケストラの響きと表現し の効果とのかかわりに関心をもち、鑑 賞する学習に主体的に取り組もうとして いる。			各曲における諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の背景にあるエピソードや、作曲者の思いと作品の音楽構造や曲想とのかかわり、オーケストラの響きと表現上の効果とのかかわりを理解を深め、楽曲や演奏を解釈したり							0				Ο

2	言葉と音楽3 ―独唱力を高めよう ―	イタリア語・ドイツ語・フランス語の言葉の特徴と文化的な背景とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うとともに、個別選択教材を活用して個々の独唱力を高める。	歌唱	【共通教材】 ○[イタリア語] 夢 ○[ドイツ語] 音楽に寄す ○[フランス語] 愛の讃歌 【選択教材】 ○[イタリア語] 女心の歌 ○[ドイツ語] 蓮の花 ○[フランス語] 夢のあとに ◆シューベルティアーデ/ロベルトとクララ/ロマン派音楽の動向 ◆史跡でたどる西洋音楽史 ◆作曲家たちの足跡	0	0	0	0		曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり、イタリア語・ドイツ語・フランス語の言葉の特徴とのかかわり、曲種に応じた発声の特徴に関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	の内容や楽曲の背景、それぞれの言葉の特徴や文化的な背景とかかわらせて 理解しながら、曲種に応じた発声の特	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景、それぞれの言葉の特徴や文化的な背景とかかわらせて理解し、イメージをもって音楽表現をしたり、曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などを身に付け、創造的に表している。		O		0				нининининининининининининининининин		Ο			
子期	物語と音楽 一物語から生まれた 音楽と芸能—	音楽や諸芸能の特徴や、それらの誕生・発展に大きな影響を与えた物語について理解を深めるとともに、音楽と他の文化が互いにどのように影響しあって発展してきたかを考える。	鑑賞歌唱)	◆シンデレラ ○昔、一人の王様がいました ○A Dream Is A Wish Your Heart Makes ◆ドン・ジョヴァンニ ○手をとりあって ◆ニュー・シネマ・パラダイス □ニュー・シネマ・パラダイス □ニ人だけの映写会 □愛のテーマ ◆羽衣伝説と日本の音楽・芸能 ○能『羽衣』から上歌 ◆ラーマーヤナ物語と芸能 ◆口絵①②Cinema meets Music	0 0	0	0 0	0 0		音楽や諸芸能の特徴や、それらの誕生・発展に大きな影響を与えた物語に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。  曲想と歌詞の内容や背景にある物語とのかかわりに関心をもち、イメージをもって歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や背景にある物語とかかわらせて理解し、音楽表現を工夫して、どのように歌ったり演奏したりするか表現意図を	かかわらせて理解し、イメージをもって 音楽表現をするために必要な発声、呼 吸法、奏法などを身に付け、創造的に	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽や諸芸能の特徴や、それらの誕生・発展に大きな影響を与えた物語を理解し、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。			0 0		0		ининининининининининининининининининин	O O O	0 0	O	O	O
1	楽しみ―リコーダー,	音楽 I における各楽器の基礎 的な奏法の習得を踏まえて、各 自の希望によりリコーダー、和楽 器 器、ギターから選択し、音楽表現(鏡 を工夫しながらアンサンブルの 楽しさを味わう。	器楽賞)	チュード □Love Me Tender ◆口絵⑤⑥楽器の分類 ◆世界の声と楽器 ◎ムガーム ◎江南絲竹 ◎トーキング・ドラム ◎サイン・ワイン ◆日本音楽の流れ	0 0	0	0 (	0 0	0	法の特徴と表現上の効果とのかかわり に関心をもち、それらを生かしてアンサ	まっている。 楽曲の音色、旋律、テクスチュアなどを 知覚し、それらの働きが生み出す特質 や雰囲気などを感受しながら、リコー ダー、和楽器、ギターの音色や奏法の 特徴と表現上の効果とのかかわりを理 解して音楽表現を工夫し、どのように演 奏するか表現意図をもっている。	法の特徴と表現上の効果とのかかわり を理解して、音楽表現をするために必 要な器楽の技能を身に付け、創造的に	世界と日本の楽器の音楽の音色・旋律・リズムなどを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽器の音色や音楽表現の多材性について理解を深め、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。				0	О				Ο	O	O	O
	映像と音楽の出合い 一音素材の特徴を生 かして音楽をつくろう	自然音や環境音など、身の回りのさまざまな音素材を組み合わせて反復・変化・対照を工夫しながらまとまりをもった音楽をつくる。また、各自がつくった音楽と映像を組み合わせてグループで映像作品をつくる。	創作	②雅楽『越天楽』 ◎箏曲『六段の調』 ◎歌舞伎『連獅子』 ◇音素材の特徴を生かして音楽をつくろう ◆口絵③④音をデザインする ◇映像と音楽との出合い ◎コンストラクション第1〈金属で〉 ◎木片のための音楽 ◎『版画』から第3曲「雨の庭」 ◎『24の前奏曲』から第15 番 変ニ長調〈雨だれ〉op.28-15 ◎雨の呪文 ◎『ラスト・エンペラー』から「Rain」			0 0		0	自然音や環境音など身の回りのさまざまな音素材の特徴、反復・変化・対照などの構成を工夫しながらイメージをもって創造的に音楽をつくる学習、各自がつくった音楽と映像を組み合わせてグループで映像作品をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	自然音や環境音など身の回りのさまざまな音素材の働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの構像を生かして、反復・変化・対照などの構成を考え、表現したい音楽をイメージして音楽表現を工夫し、どのように音楽をつくるか表現意図をもっている。	自然音や環境音など身の回りのさまざまな音素材の特徴、反復・変化・対照などの構成を工夫した音楽表現を工夫するために必要な音の組み合わせ方や記譜の仕方などを身に付け、創造的に表している。							0	О			O	0	0
1.	2学期のまとめ	2学期の音楽学習のまとめとして器楽アンサンブルの発表と独唱の実技試験を行い、学習内容の定着度を確認するとともに、学習を振り返って課題を確認し、3学期以降の取り組みを考える。	歌唱	○器楽アンサンブルの演奏発表 ○2学期に学習した歌唱教材の中から独唱の試験 ◇各自の創作作品の演奏発表 ◆創作作品の紹介文 ◆学習のまとめのワークシート ◆相互評価アドバイスカード ◆ 冬休み中の課題レポート: 音楽との出合いが私にもたらしたもの	(O) (O	) (O) (	0)((	0) (0) (0	(O)	2学期の音楽学習のまとめとしての器 楽アンサンブルの演奏発表と独唱の試 験に主体的に取り組もうとしている。	各自が選択した器楽アンサンブル及び 歌唱曲の音楽を形づくっている要素を 知覚し、それらの働きを理解しながら音 楽表現を工夫し、どのように歌い、演奏 し、音楽をつくるか表現意図をもってい る。	1/子部の日本子古の成果を悩まる 1		0	——————————————————————————————————————	0 0	0 0	0 0	)	0					0
1	う ―いろいろな音階が	っそれぞれの音階がもつ特徴を理解するとともに各自が選択した音階をもとに旋律をつくり、伴奏 かかないではでいたがらイメージをもって音楽をつくる。	創作	◇音階から音楽をつくろう ◆楽典 音階や旋法 ◎砂山 ◎各地の民謡や伝統音楽 ◎ラプソディー・イン・ ブルー ◎『グレゴリオ聖歌』から続唱〈復活のいけにえに〉 ◎スカボロー・フェア ◎『前奏曲集 第1巻』から「帆」 ◎ツィゴイナーヴァイゼン ◆作曲家年表			0 (			副次的な旋律や和音を付けることに関 心をもち、イメージをもって創造的に音	様々な音階がもつ特徴とそれらの働き を理解しながら、音階の特徴を生かした 旋律をつくったり、副次的な旋律や和音 などを付けたりして、表現したい音楽を イメージして音楽表現を工夫し、どのよ うに音楽をつくるか表現意図をもってい る。	副次的な旋律や和音などを付けるため に必要な音の組み合わせ方や記譜の 仕方などを身に付け、創造的に表して						Ο	)	Ο			0	Ο	
3学期	絵画と音楽 一西洋史における美 術と音楽のかかわり 一	のつく光展してったかに日を円   (	鑑賞 (器楽)	◆ウィーン古典派時代の芸術文化  ②交響曲 第7番 イ長調 op.92  □『交響曲 第7番』から第2楽章  ◆ロマン派時代のパリ  ③『12の練習曲』から第12曲 ハ短調「革命 Jop.10-12  ◆ベル・エボック  ③パレエ音楽『パラード』  ◆史跡でたどる西洋音楽史  ◆作曲家年表  ◆音楽史と史実  ◆西洋音楽 楽曲のいろいろ  ◆オーケストラの配置例	0 0	0	0 0		0	西洋史の流れにおける音楽と美術のかかわりや各時代における絵画と音楽の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。  ベートーヴェン作曲『交響曲 第7番』第2楽章の曲想とその時代の絵画や文化的背景とのかかわりに関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	ベートーヴェン作曲『交響曲 第7番』第 2楽章の旋律、形式、構成などを知覚 し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想をその明代の絵画や文化的背景とかかわらせて理解し、音楽表現を工夫して、どのように音楽をつくるか表現意図をもってい	ベートーヴェン作曲『交響曲第7番』第2 楽章の曲想をその時代の絵画や文化 的背景とかかわらせて理解し、イメージ をもって音楽表現をするために必要な 各楽器の奏法を身に付け、創造的に表	各曲の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、西洋史の流れにおける音楽と美術のかかわりや各時代における絵画と音楽の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。			Ο		0			O	0			O
	音楽の意義 一自分にとっての音 楽の存在を考える—		歌唱 (器 楽)	□主よ人の望みの喜びよ ○あなたはどこに ◆◎祈りと音楽 ◆音楽史と史実 ◆音楽との出合いが私にもたらしたもの(2学期末課題レポート)		0	0 0			義や音楽が社会において果たしうる役割などについて関心をもち、それらを理	こ衣坑上の刈木とのかかわりで垤酢し	曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかり、クラス全体での合唱や合奏の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、イメージをもって音楽表現をするために必要な発声、奏法などを身に付		0	O	0 0	0	О							0
3	音楽 II のまとめ ―クラス・コンサートを 開こう―	_ アンサンブルをしたり、クラス全 ┃ 器	器楽 創作	○1年間で取り扱った歌唱教材 □1年間で取り扱った器楽教材 ◇各自の創作作品の演奏発表 ◆学習のまとめのワークシート ◆相互評価アドバイスカード	(0) (0	) (O) (	O) ((	)) (O) (O	(O)		各自が選択した楽曲の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きによる特質や雰囲気などを感受しながら、様々な表現形態による歌唱や器楽の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか表現意図をもっている。	徴と表現上の効果とのかかわりを理解													0